

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡ください。解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関してご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

#### <概要>

研究課題名	「日本における効果的かつ効率的な栄養管理プロセス（Nutrition Care Process）の確立」
対象	2022年4月～2026年3月の間に兵庫県立尼崎総合医療センターにて管理栄養士による栄養管理（栄養指導、食事調整、NST介入など）を受けられた患者さんを対象とします。
研究期間	承認日から2027年3月31日までを予定しています。
研究目的	本研究の目的は、日本における効果的かつ効率的な栄養管理プロセス（Nutrition Care Process：NCP）を確立することで、効果的かつ効率的な栄養管理を推進することです。 NCPとは栄養介入の手順と方法を示すものであり、「どのような状態」の患者に「どのような種類」の栄養介入が「どれくらい（介入の期や提供回数など）」必要かという栄養介入の条件設定を行い、その条件に基づき介入を行い、栄養介入後の患者の変化を定期的にもモニタリングし評価することです。近年、栄養管理の国際標準化に向けてNCPがアメリカ、カナダ、イスラエル、オーストラリア、イギリス、日本で推進されています。しかしNCPはアメリカ栄養士会の提案で始まった仕組みであるため医療体制や文化の異なる日本においてはNCPをそのまま適用できず研究課題となっており、さらなる整備が必要であるため、本研究を企画することとなりました。
利用又は提供を開始する予定日	承認日以降に試料・情報の利用・提供を開始します。
方法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、成長歴、食物・栄養関連の履歴（食物・栄養摂取の状況、知識・信念など）、身体計測、生化学データ、臨床検査所見、栄養に焦点を当てた身体所見臨床所見（嚥下機能、消化管の状態など）等があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 栄養管理部 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7001 研究責任者：栄養管理部 鳥井 隆志